

公益社団法人神戸女学院めぐみ会

2022年度（令和4年度）事業報告

自2022年（令和4年）4月1日 至2023年（令和5年）3月31日

◆事業部門

I. 公益目的事業

1. 公益目的事業1

学校法人神戸女学院の教育・研究を振興し、私立学校による女子教育のより一層の充実を図り、有能な人材を世に送り出すことをもって社会に貢献する事業

(1) 学院めぐみ教育基金寄付

【事業の内容】神戸女学院が国内外からすぐれた学者、教育者を客員教員として招聘するための基金へ寄付をする。

【実績・成果】神戸女学院愛校バザーを2022年10月29日（土）に神戸女学院と共催し、バザー寄付・バザー収益金より220万円を寄付した。

(2) 学生生徒活動の助成金

【事業の内容】神戸女学院の学生生徒の国際交流活動・社会貢献活動への助成をする。

【実績・成果】神戸女学院愛校バザーを2022年10月29日（土）に学院と共催し、バザー寄付・バザー収益金より189万円を寄付した。

(3) 学院事業協賛寄付

【事業の内容】神戸女学院への寄付として指定された寄付金による寄付、キリスト教挙式サポート事業による学院への寄付をする。

【実績・成果】神戸女学院教育振興会（学院の寄付受付窓口）及び神戸女学院への寄付として当法人が受けた寄付1,653,091円を学院に寄付した。

キリスト教挙式サポート事業（学院施設のソール・チャペルにおける挙式）を当法人が運営し、経費を差し引いた挙式料490,000円を学院に寄付した。

2022年度挙式件数：9件

(4) めぐみ会賞の授与

【事業の内容】神戸女学院の学生・生徒の自主的な活動を称え、支援する。

神戸女学院の立学の精神にふさわしい課外活動を行っている大学学生、中高部生徒の団体に賞金または記念品を授与する。

【実績・成果】神戸女学院大学・中高部から推薦のあった大学8団体、中高部6団体の中から、めぐみ会賞規程の選考基準に基づき、理事会において検討・選出し、次のとおり授与した。

2022年10月21日（金）大学「聖歌隊ハンドベルクワイア」「学生YMCA」各団体に5万円授与

2023年1月23日（月）中高部「gradation」「green peace」各団体に記念品授与

◎公益目的事業1実施のための財源

- ・神戸女学院愛校バザー開催時に会員から寄せられる寄付金及びバザー収益
- ・キリスト教挙式サポート事業
- ・寄付者が学院への寄付として指定した寄付

2. 公益目的事業2

信仰を育成し、知性を深めるための講演会・研究会・教室等の開催により生涯教育の場を広く一般に提供し、豊かな人間性を涵養する事業

当事業は、関心のある者すべてに公開されている。その周知方法はめぐみ会ホームページ、めぐみ会公式SNSへの掲載・ポスターの掲示・チラシの配布・新聞、行政の発行物への掲載等である。

(1) 2022 めぐみ講演会

【事業の内容】 知性を深めるための講演会を開催して、広く一般を対象に生涯教育の場を提供し、豊かな人間性を育む。

【実績・成果】

- ・「人生 100 年時代を迎えて～高齢期の QOL(Quality of Life)を考える～」

7月26日(火)

講師：関西学院大学人間福祉学部人間福祉研究科教授 大和 三重氏

会場：めぐみ会館

受講者数 67名

- ・「今、音楽にできること」

9月17日(土)

講師：指揮者 佐渡 裕氏

会場：神戸女学院講堂

受講者数 540名

2022 年度も新型コロナウイルス感染防止対策に細心の注意を払って開催する必要があったが、広く一般にニーズの高いテーマであったことや講師の知名度もあり、盛況であった。アンケート回答も好評であった。

【課題】 めぐみ会ホームページ、めぐみ会公式 SNS への掲載、9 月講演会は西宮市の後援を得ることにより、市の発行物掲載や公民館、図書館、ホールにチラシを設置するなど幅広い広報に努めている。今後もアンケート結果を分析し、多くの一般受講者にアピールできるテーマ選びをしていきたい。

(2) 2022 キリスト教セミナー

【事業の内容】 キリスト教についての理解を深める講座を開催することにより、キリスト教的教養を涵養し、信仰を育成する。

【実績・成果】

パウロを考える

第1回 2023年2月7日(火)

会場：めぐみ会館

2023年2月7日(火)～2月20日(月) 録画配信

「パウロはどんな人だったのか？」

講師：学校法人神戸女学院 院長 飯 謙氏

受講者数 40名

第2回 2023年2月21日(火)

会場：めぐみ会館

2023年2月21日(火)～3月6日(月) 録画配信

「パウロから見る原始キリスト教」

講師：神戸女学院大学 大学チャプレン 文学部総合文化学科准教授 大澤 香氏

受講者数 36名

昨年度に引き続き2名の講師が担当した。講師の工夫により1つのテーマを別の視点から講義するスタイルはアンケート回答でも好評であった。

新型コロナウイルス感染防止の意味もあり、来館と録画配信で実施した。

【課題】 2月という寒い時期のセミナー開催ということで、今後も来館と録画配信を併用することを検討する必要がある。

(3) 2022 アートセミナー

【事業の内容】 芸術・文化に関するセミナーを開催することで、広く一般を対象に知識・教養を習得し、見識を深める機会を提供する。

【実績・成果】

- ・イタリア・フレスコ画の名品を読み解く

講師：大阪大学文学研究科教授、神戸女学院大学文学部総合文化学科非常勤講師
岡田 裕成氏

第1回 2022年6月6日(月)

「パドヴァ、スクロヴェーニ礼拝堂：ジョットの壁画と救済のヴィジョン」

受講者数 37名

第2回 2022年6月20日(月)

「ヴァティカーノ宮殿「署名の間」：ラファエッロが描いたルネサンスの理想」

受講者数 37名

・古典倶楽部 ～テーマに沿って高校の教科書を読み直す～

講師：元神戸女学院中高部非常勤講師 錦田 靖子氏

源氏物語の名場面(全6回) ※第5回、第6回は2023年度に開催予定

第1回 5月27日(金) 巻一「桐壺」 受講者数 28名

第2回 6月24日(金) 「桐壺」と白居易「長恨歌」 受講者数 26名

第3回 11月4日(金) 巻四「夕顔」 受講者数 23名

第4回 12月2日(金) 巻五「若紫」 受講者数 18名

【課題】幅広い広報に努め、受講者の増員を図る。西宮市の発行物にもセミナー案内を掲載予定。

(4) 「神戸女学院めぐみ教育基金」招聘教員による特別講演会

【事業の内容】学院創立75周年、90周年にめぐみ会が募った学院への寄付金を基金として、毎年バザー収益金から追加寄付している「めぐみ教育基金」をもとに、神戸女学院大学が国内外から招聘している客員教員に講演を依頼。広く一般の方に参加していただく。

【実績・成果】

・12月16日(金) `Two productions of Japanese Shakespeare in 2022:Inoue Takaki's

*A Midsummer Night's Dream*and Suemitsu Kenichi's*Tomio&Yuriko*

講師：神戸女学院大学文学部英文学科客員准教授 Sarah OLIVE氏 受講者数 42名

(5) 講話会

【事業の内容】神戸女学院が宗教強調週間に招く講師を迎え、講話会を開催し、神戸女学院の教育の基礎であるキリスト教に触れる機会を提供する。

【実績・成果】

・11月10日(木)「あなたは、空の鳥を、野の百合を見ましたか？」

講師：アシュラムセンター主幹牧師・日本基督教団教師 榎本 恵氏 受講者数 39名

会場：めぐみ会館

新型コロナウイルス感染防止対策に細心の注意を払って開催した。

・同日合同追悼会を開催 永眠者144名を追悼

(6) 外国語教室

【事業の内容】主にネイティブスピーカーを講師とする教室を開催し、単に外国語を学習するだけでなく国際相互理解の促進を図る。

英語教室 [金曜日クラス] 講師： Nathaniel Carney

[水曜日クラス] 講師： 小寺 里砂

【実績・成果】

・場所：めぐみ会館

受講者・レッスン数 前期：[金曜日クラス] 8名 [水曜日クラス] 9名

合計17名 金曜10レッスン(体験1回) 水曜10レッスン

合計20レッスン

後期：[金曜日クラス] 8名 [水曜日クラス] 8名

合計16名 金曜10レッスン 水曜10レッスン 合計20レッスン

【課題】多くの方に興味を持ってもらえるような授業内容を取り入れ、めぐみ会ホームページ、めぐみ会公式SNSへの掲載、英文学科へのチラシ配布等、広告の仕方を工夫し、受講者の増員に努める。より幅広い受講者を募るため、2023年度は、従来の難易度の高いクラスに加え、より参加しやすいレベルの2クラスを特別企画として実施予定。

(7) 音楽教室

【事業の内容】地域の人々や学生・生徒に、生涯教育の一環として豊かな情緒を育む音楽教育の場を提供する。質の高い指導を廉価で提供する。

場所：めぐみ会館内の音楽室

講師：

- ・ピアノ 山本 江利、島 敏子、新野 ダリア、都築 麻衣子、増永 智子
- ・オルガン 片桐 聖子、前田 直子、大野 明子
- ・チェンバロ 中出 悦子
- ・ヴァイオリン 菊本 恭子、藤原 由美子、田原口 安代
- ・フルート 吉村 麻衣子、松田 晴香
- ・声楽／ヴォイストレーニング 三輪 智子、松田 緑、西田 真由子、古田 昌子

【実績・成果】

- ・楽器別受講者数及びレッスン数

ピアノ	前期：21名、182レッスン	・後期：22名、250レッスン
オルガン	前期：25名、169レッスン	・後期：28名、208レッスン
チェンバロ	前期：0名、0レッスン	・後期：0名、0レッスン
ヴァイオリン	前期：6名、33レッスン	・後期：5名、38レッスン
フルート	前期：4名、39レッスン	・後期：4名、47レッスン
声楽／ヴォイストレーニング	前期：10名、57レッスン	・後期：14名、85レッスン
合計	前期：66名、480レッスン	・後期：73名、628レッスン

- ・音楽教室の日頃のレッスン成果を発表する場として、3月24日（金）めぐみ会館にてスプリングコンサートを開催 出演者数 30名 来場者数 67名

【課題】より多くの受講者を増やすべく、広報に努める。

(8) 各支部において一般公開の講演会や音楽会を開催する。

各支部において14回の講演会・音楽会・講習会等（別紙参照）

◎公益目的事業2実施のための財源

講演会・セミナー・教室の開催時に低廉な参加費を徴収

3. 公益目的事業3

神戸女学院在学中の受入れ留学生を含む在学学生及び卒業生に対する奨学金の授与により、学術、文化及び教育の振興・普及、国際相互理解の促進を通じて社会に貢献する事業

【事業の内容】

- ・卒業支援奨学金 対象：学費の補助を必要とする神戸女学院大学学生、中高部生徒
- ・修学支援奨学金 対象：学費の補助を必要とする神戸女学院大学2年生
- ・海外留学奨学金 対象：神戸女学院大学認定留学制度を利用して海外留学を行う学生
- ・受入れ留学生奨学金 対象：神戸女学院大学・大学院に在学中の受入れ留学生
- ・研究奨励奨学金 対象：国内外の大学院等において研究中の会員
- ・辻秀子奨学金 対象：キリスト教や聖書について研究中等の会員

【実績・成果】

各奨学金に関して審議会（審議員5名）を開催。以下の授与候補者が理事会に推薦され、理事会にて承認された。

- ・修学支援奨学金：大学2年生1名（月額4万円を4年生までの3年間）
（対象の大学3年生1名、4年生1名については引き続き授与）
- ・研究奨励奨学金：2名（各20万円）

【課題】海外留学奨学金、受入れ留学生奨学金については、新型コロナウイルス感染症の影響等で実現しなかったが、大学の担当部署である国際交流センター等と情報交換し、奨学金利用の活性化を図る。

◎公益目的事業3実施のための財源

奨学資金積立基金資産およびその他の特定資産の運用益ならびに奨学金指定寄付

その他の公益目的事業

- ・神戸女学院の在学生及び卒業生の有する各種技能・能力を社会に活かすためのコーディネート活動
- ・めぐみ会ホームページ、めぐみ会公式 SNS による広報活動、法人情報公開
- ・災害被害者支援
世界子供支援金〈ウクライナ支援〉寄付として 50 万円を公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団に寄託

II. 収益事業

1. 結婚支援事業

【事業の内容】 MMS (Megumi Marriage System) の運営

当法人の結婚支援事業は、1976 年に事業開始以来長年の実績があり、当法人関係者に結婚のための出会いの場を提供している事業である。また、役員を含む会員が無報酬で運営に携わっており、会場が当法人所有の会館であるため、費用は一般の結婚紹介企業と比べて廉価である。より良いサービスの提供と業務改善を図るため、2020 年度、MMS システムの導入を開始した。

【実績・成果】

相談会 19 回、お見合い 96 件、婚約 7 件、登録者 208 名
新型コロナウイルス感染症対策をしながら相談会を行った。

III. その他の事業

【事業の内容及び実績】当法人の会員は、神戸女学院で受けた教育をめぐみと受け止め、その感謝を公益目的事業として具現化している。そのめぐみを確認し、事業遂行の推進力とするために、「その他の事業」として、会員の友誼を深めるための行事を開催している。会員はそれぞれ支部に所属し各支部では地域の独自性を生かしながら支部会を開催している。また、会員が当法人の理念を確認する手段として、年 1 回会員向けに広報誌『めぐみ』を発行し、当法人の事業・会員についての情報及び学校法人神戸女学院の情報を発信している。その他、当法人のオリジナルグッズを企画し、販売している。

1. 会員の友誼を深めるための行事の開催

- ・各支部における支部会の開催
新型コロナウイルスの影響により、2020 年度以降、対面での支部会開催が出来ない状況が続いていたが、2022 年度は各地での支部活動が再開した。
- ・支部長会の開催 6 月 16 日 (木)
初の試みで、めぐみ会館とオンライン開催併用の、ハイブリッド方式で行い、来館 16 支部、オンラインでは海外 5 支部を含む 26 支部、合計 42 支部が参加した。

2. 広報誌『めぐみ』111 号の発行 5 月 1 日 (日) 発行部数 37,500 部

3. 記念品事業

- ・オリジナルグッズの企画と販売

4. 収蔵資料の管理

- ・めぐみ資料委員会所有の資料のデータ化を進めた。

◆管理部門

I. 法人管理

1. 総会の開催

- ・2022 年度定時総会 6 月 16 日 (木) 3 年ぶりに代議員を交えての開催

2. 理事会の開催

- ・定例理事会 年間 11 回 (8 月を除く)
- ・臨時理事会 2 回 (5 月 26 日 (木) Web 会議、6 月 16 日 (木))

II. 規則整備

- ・支部の設置に関する規則 改正
- ・特定資産取扱規程別表 追加
- ・慶弔交際費規程 改正
- ・終了情報保管規程別表及び終了情報保存期間基準表 改正
- ・クラス委員のしおり 改正

- ・キャンパス・ウェディングについて 改正
- ・同期生登録に関する確認事項 改正
- ・代議員選挙規程 改正
- ・学校法人神戸女学院役員及び委員推薦規程 改正

Ⅲ. 会員データの管理と整備

- ・会員名簿発行

Ⅳ. 会館管理

- ・長期計画に基づく維持管理

Ⅴ. コンピュータシステムの総合管理

- ・3階委員会室パソコン購入

◆神戸女学院への協力

以下の委員会に構成員を送った。

- ・学院理事会・学院評議員会
- ・学院教育振興会役員会
- ・学院めぐみ教育基金運営委員会
- ・学院愛校バザー実行委員会
- ・学院 KC・KCC 関係国際交流委員会
- ・学院カレンダー委員会

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特に無い。